

校正記号

校正とは、誤字や脱字などの誤りをチェックし、文章の体裁や書体を整える作業のことをいいます。大学では担当教員やゼミの先生から、提出した原稿に朱書きで誤りを指摘されたり、訂正を加えられたりすることがあります。その際、よく用いられるのが校正記号です。校正記号の意味を知ること、正しく効率的に文章を修正することができるので、皆さんも校正記号に馴染むようにしましょう。

校正記号の例

提出日: 2017年7月10日

2017年度春学期科目「言語学概説I」(月曜1限)レポート

インターネット上の書き言葉

××学部△学科 1年1組 17x0123 法政太郎

上付き文字にする

文字の挿入(この例では中黒「・」)

文字の修正(2文字以上の場合)

文字の修正(1文字の場合)

改行する

改行をやめる

字句の入れ替え

文字の削除(2文字以上)

文字の削除(1文字)

指示(文字の修正)の取り消し

小文字に修正

大文字に修正

2行目以降を2文字下げ

2行目以降を2文字下げ

イタリックに修正

ダッシュに修正

文字の挿入(この例では中黒「・」)

文字の修正(2文字以上の場合)

文字の修正(1文字の場合)

改行する

改行をやめる

字句の入れ替え

文字の削除(2文字以上)

文字の削除(1文字)

指示(文字の修正)の取り消し

小文字に修正

大文字に修正

イタリックに修正

ダッシュに修正

はできないだろう。そして研究方法の上でも、WWWのコーパス化以外に、インターネットは言語研究に新たな世界を切り拓く可能性を秘めていると考えられる。

注

(1)「インターネット上のウェブシステムを指す「World wide web (WWW)」という語に使われ、その略称でもあるWB(Wウェブ)という言葉は、もともと「蜘蛛の巣を意味していたが、ハイパーリンクによって、ページのつながる様子が蜘蛛の巣のようであるため、インターネット用語としても用いられるようになった。」

参考文献

Biber, Douglas, Susan Conrad, Randi Reppen, 1998, *Corpus Linguistics: Investigating Language Structure and Use*, Cambridge: Cambridge University Press.

上村圭介・原田豊・土屋大洋, 2005, 「インターネットにおける言語と文化受容」NTT出版

荻野銅男, 2008, 「WWWをコーパスとして利用する研究一文系と理系の観点から」『日本語学』27(2): 4-9.

武部豊一, 2007, 「記者のつぶやきー英語を超えた日本語ブログの投稿数、その理由は?」, ITpro(日経BP社), (2014年1月17日取得, <http://itpro.nikkeitp.jp/article/COLUMN/20070411/268668/>).

田中久美子, 2008, 「ケータイ小説の表現は面白い」『国文学: 解釈と教材の研究』53(5): 38-45.

(総字数 2015字)

レポートの書き方

※仕上がった校正後の最終提出版はP47のレポートになります。